

2月11～15日「六郷のカマクラ」が行われます

国の重要無形民俗文化財に指定されている小正月行事「六郷のカマクラ」が、ことしも2月11日から15日まで行われます。

天筆まつり

期 日 ● 2月12日(月)～15日(木)
会 場 ● 六郷の全戸と各町内で掲揚

天筆は2月11日の「蔵開き」の日に書き、翌12日から15日まで戸外に立てられます。

鳥追い小屋 雪宮

審査の日時 ● 2月14日(水) 午前9時30分～

六郷の各町内がそれぞれに趣向を凝らして作る雪宮と鳥追い小屋(かまくらに似た雪室)は、カマクラ行事の楽しみの一つ。美郷町観光協会では、ことしも「鳥追い小屋・雪宮コンクール」を行います。

竹うち

日 時 ● 2月15日(木) 午後8時10分～
会 場 ● 秋田諏訪宮前「カマクラ畑公園」

六郷を南軍と北軍に分けて、長さ5～6mの青竹を打ち合う「竹うち」は、午後8時10分から3回に分けて行われます。南軍が勝つとその年は米価が上がり、北軍が勝つと豊作といわれています。



役場(六郷庁舎)商工観光課 ☎0187-84-4909
カマクラ保存会(六郷公民館内) ☎0187-84-2311

■天筆書き体験

ことしの願いを天筆に託してみませんか。どなたでも参加できますのでお気軽にご来場ください。
時 間 ● 午後1時30分～午後4時



■餅つき

甘酒やつきたての「きなこ餅」を振る舞います。
時 間 ● 1回目：午後2時ころ
2回目：午後3時ころ



2月15日(木)
名水市場
「湧太郎」

美郷町商工会も
美郷の冬まつり
を盛り上げます

青年部

冬の寒さに負けない元気な子どもたち集まれ!

「子ども雪まつり」
雪上すべり台や雪像づくり、
楽しいゲームもたくさんあるよ!

日 時 ● 2月11日(日) 午前10時30分～午後3時
雪だま的当てゲーム
午前11時～(予定)
雪中たからさがしゲーム
午後2時～(予定)

会 場 ● カマクラ畑公園近く「わくわく広場」

女性部

美人ぞろいの商工会女性部がお待ちしています。

「甘酒ふるまいコーナー」
「本格おしるこ販売コーナー」

日 時 ● 2月15日(木) 午前11時～
会 場 ● 観光情報センター通り特産品販売所

※詳しくは美郷町観光協会発行のチラシをご覧ください。

生ごみ処理機設置費補助金の交付申請を受け付けています

町では「生ごみ処理機設置費補助事業」を実施し、ごみの減量化を推進しています。

対象者●美郷町内に住所があり居住している方で初めて生ごみ処理機を購入する方(法人を除く)
補助額●購入費の2分の1(上限5万円) ※購入店や機械のメーカー、種類は問いません。

生ごみ処理機の購入を考えている方へ

町では、町内で実際に生ごみ処理機を使用している方のお声をお聞きし、今後の事業の参考にするためにアンケート調査を行いました。これから生ごみ処理機の購入を考えている方はぜひご参考にしてください。

調査対象●平成12年度から平成18年12月までの間に生ごみ処理機を設置された方130人
調査方法●郵送による調査票の送付およびハガキによる回答
回答数●105人(回答率80.8%)
アンケート調査のご協力ありがとうございました。

生ごみ処理機は大きく分けて2種類あります

- 乾燥式/熱源により生ごみを乾燥処理し約7分の1に減量します。
- バイオ式/微生物により生ごみを分解処理し約10分の1に減量します。

質問 購入した生ごみ処理機の種類と設置場所

乾燥式 75人(71.4%)
(※うち約6割が台所や勝手口の室内に設置)
バイオ式 30人(28.6%)
(※うち約6割が車庫、作業場等の室外に設置)

質問 生ごみ処理機を購入したきっかけは何でしたか

乾燥式、バイオ式ともに、ごみの減量化に役立つと思った(24%)、堆肥として利用しなかった(23%)、ごみ出しの負担を軽くしたかった(14%)、生ごみの臭いをなくしたかった(12%)、虫などで不衛生になるのが嫌だった(7%)、その他、の順となっています。

質問 生ごみ処理機を使用して良かったと思うことはどんなことですか

乾燥式、バイオ式ともに、処理された生ごみを有効利用できる(42%)、続いて、台所の生ごみの臭いがなくなった(20%)、可燃ごみを出す回数が減った(16%)、台所がきれいになった(12%)、その他、の順となっています。

質問 処理後の生ごみはどのようにしていますか。

処理後の生ごみの活用方法は、「家庭菜園等で堆肥として

利用している」と回答した方が乾燥式、バイオ式全体の86%と圧倒的に多く、「生ごみもリサイクルできる資源」としての役割を果たしています。

質問 生ごみ処理機を使用してから、電気料が高くなったと感じますか

乾燥式は、変わらない(39%)、少し高くなった(57%)、かなり高くなった(4%)。
一方、バイオ式では、変わらない(57%)、少し高くなった(43%)となっています。
乾燥式は熱源を使用する分、電気の使用量が若干多いようです。

質問 生ごみ処理機をどのように使用していますか

乾燥式の内、1年中通して使用している方が44%で、冬期間だけ使用している方が20%。
一方、バイオ式では1年中通して使用している方が82%を占めています。
これに対して、現在は使用していない方が乾燥式とバイオ式全体の約15%を占め、手間や電気代、処理時間がかかる、臭いが気になるという主な理由でした。

生ごみ処理機をご利用している皆さんの声

乾燥式 をご利用の方

- ・生ごみを出す回数が減ったのでとても良い。ごみ減量化に役立っていると思います。
- ・生ごみはいろいろ工夫して土に返すのが一番良いと思います。
- ・台所に生ごみを置くことがなくなり、とても衛生的です。また、堆肥として利用できるので良いことだと思って使っています。
- ・電気代がかかるし、生ごみに草や稲わらを混ぜて堆肥を作った方が簡単な気がして処理機は使わなくなった。
- ・ごみの減量化に役立つことと、堆肥として利用できることについては満足しているが、電気料の増加が気になります。
- ・生ごみの水切り等日々の作業や機械の掃除が思ったより手間がかかり面倒だった。

バイオ式 をご利用の方

- ・魚などの頭や骨がすぐ処理できるので助かっています。
- ・野菜や花壇等に効果があるようで、結構良質の肥料として使用できると思います。
- ・副資材が少し高く感じます。



生ごみ処理機の種類は乾燥式が約7割で、約3割がバイオ式でした。
処理機の音、臭い、作業の負担に対しては、乾燥式・バイオ式どちらも大きな差はありませんでしたが、乾燥式はバイオ式に比べ電気料が若干かかり増しするようでした。

乾燥式・バイオ式それぞれ電気料や臭い、必要な作業などの特徴があり、使用する人の感じ方や考え方、また、使用の仕方によってメリットに感じるかデメリットに感じるかに差が生じていることが察せられました。
生ごみもリサイクルできる資源です。

町では今後もごみの減量化に向けた取り組みを実施しますので、皆様のご協力をお願いします。



役場(千畑庁舎)住民生活課 環境安全班 ☎0187(84)4903